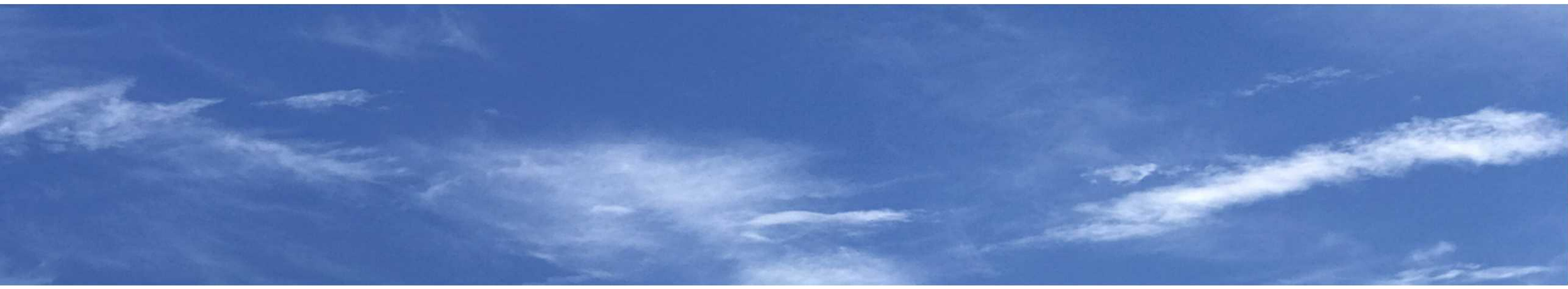


運輸防災マネジメントセミナー
自然災害等への対応について

東武バスセントラル株式会社
2024年6月6日



運輸防災マネジメントセミナー 自然災害等への対応について

1 会社概要

2 自然災害等への対応

3 まとめ

1. 会社概要 東武バスセントラルの事業内容

2002年（平成14年）に前身の東武鉄道㈱より分社し、東武バスグループ（東武バス・東武バスセントラル・東武バスウエスト・東武バスイースト・東武バス日光）として営業を開始、2022年10月に東武バスセントラルと東武バスイーストが合併いたしました

東武バスセントラルは、東京都・埼玉県・千葉県内に路線を展開し、会社設立以来22年間、地域に根ざしたバス事業者として発展してまいりました



- 社 名 東武バスセントラル株式会社
- 設 立 2002年(平成14年)4月4日
- 営業開始 2002年(平成14年)10月1日
- 資 本 金 5,000万円
- 代 表 者 取締役社長 岩田 敏之
- 従業員数 756名(2024年4月1日現在)
- 事業内容 乗合旅客運送業(路線バス事業)
貸切旅客運送業(観光バス事業)
- 車 両 数 432両
- 系 統 数 297系統
- 営業キロ 1,398.388km
- 旅 客 数 約41,638千人(2023年度)

1. 会社概要 東武バスセントラルの事業内容

●一般路線バス

- ・車両数：399両
- ・系統数：256系統

<一般路線バス>



●高速バス

- ・車両数：33両
- ・系統数：41系統
- ・主要系統

- 北千住駅～羽田空港線
- 新越谷駅～羽田空港線
- 東京駅～いわき駅線

- 東京スカイツリータウン～東京ディズニーリゾート線/羽田空港線

<高速バス>



2. 自然災害等への対応について

- 1 自然災害発生リスク
- 2 自然災害時の緊急連絡体制
- 3 行動基準の策定
- 4 従業員の安全及び資産の確保(過去の事例紹介)
- 5 災害への事前対策(事例紹介)

2. 自然災害等への対応について

1 自然災害の発生リスク【東武バスセントラル管内(東京・埼玉)の地形】



【一級河川の存在(警戒)】

- ・ 中 川
- ・ 綾瀬川
- ・ 毛長川

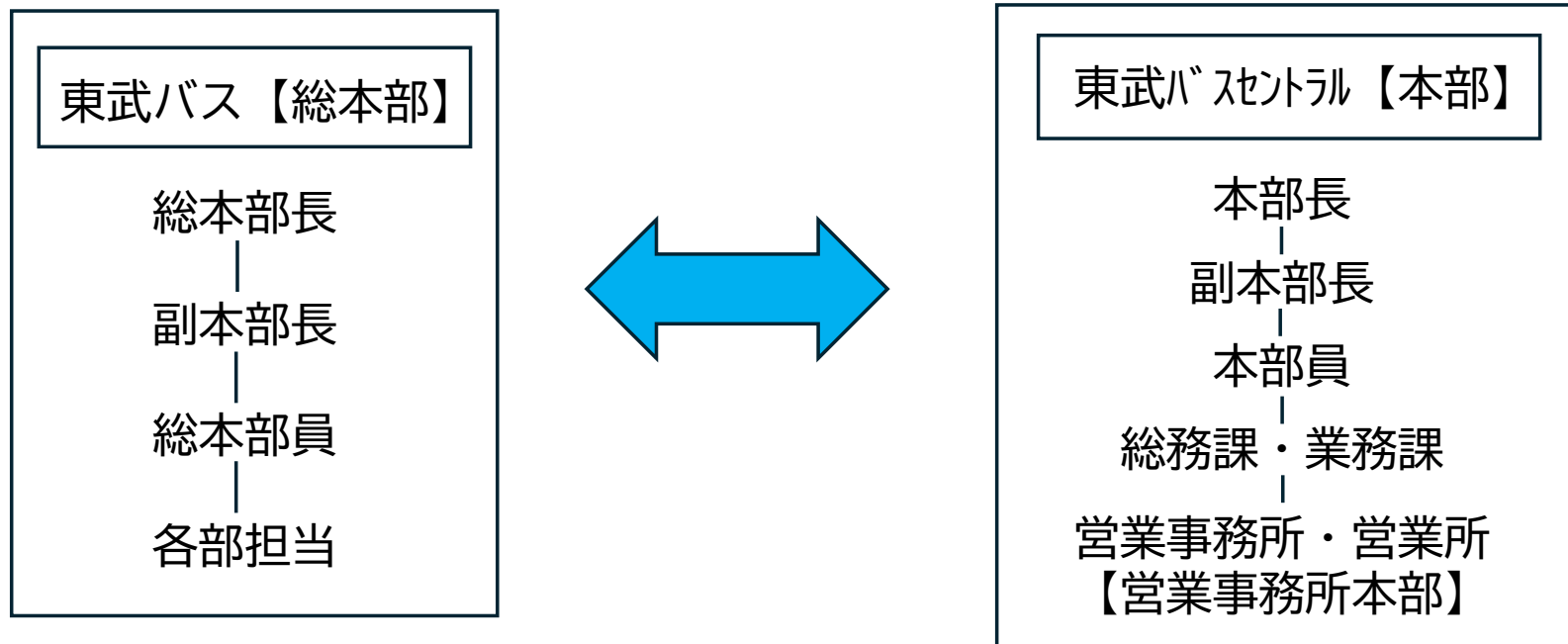
※また、西新井営業所の南側約1キロには荒川が流れている

※各事業所のハザードマップを載せております

2. 自然災害等への対応について

2 自然災害時の緊急連絡体制

- ・ 東武バスグループ防災規程に基づき、各対策本部を設置し、情報共有に努め、各関係機関へ報告を行っている



2. 自然災害等への対応について

3 行動基準の策定

◆行動基準の基本方針

- ・ 人命（お客様・従業員）の安全を守る
- ・ 経営維持に必要な資産（建物・車両ほか）を守る

◆災害への事前対策

- ・ ハザードマップの備置き、災害時避難場所や建物内外の避難経路を事前に確認し、スムーズな対応が図れるよう準備する
- ・ 避難後の安否確認、ホームページ等への掲載や関係各所への報告に備えた緊急連絡体制を構築する
- ・ 非常用備蓄品の管理（補充・整理）
- ・ 衛星携帯電話の設置および動作確認

2. 自然災害等への対応について

4 従業員の安全及び資産の確保

◆災害対策の強化（過去の事例①）

- ・大雨等により過去に浸水被害が発生していた吉川営業所（埼玉県吉川市）を、2014年3月の事業所建替時において、建物の基礎を高くしたほか、車庫内の排水ポンプを増強することで浸水対策を図った
- ・そのほかの事業所においても、老朽化した建物は順次建替等を実施

◇建替前



◇建替後



2. 自然災害等への対応について

4 従業員の安全及び資産の確保

◆営業所拠点の見直し（過去の事例②）

- ・ 2020年8月の大雨による浸水被害に遭った東武バスウエスト(株)天沼営業所（埼玉県さいたま市・2022年3月閉所）を、浸水リスクの低い近隣の岩槻営業所と統合した

◇天沼営業所 車庫は冠水し、事務所も浸水被害に遭った



2. 自然災害等への対応について

5 災害への事前対策

◆非常用備蓄品(カンパン・ベーカリー・飲料水・簡易トイレ)の配備



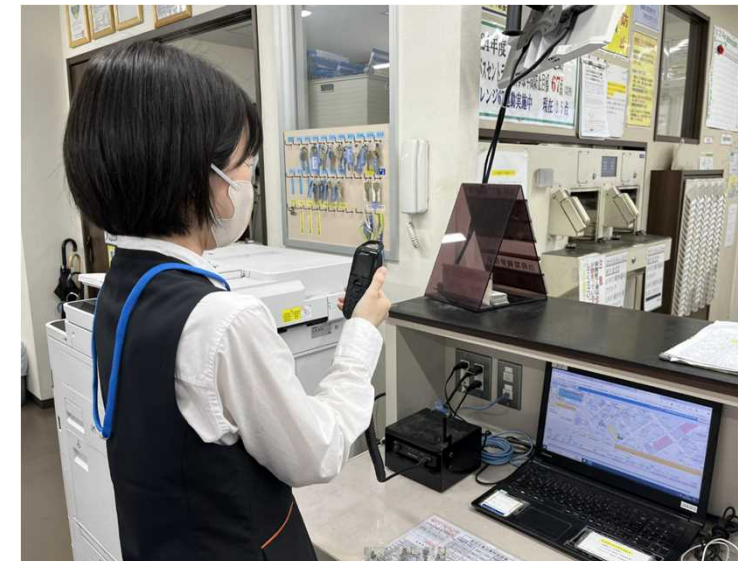
各事業所において、3日分の備蓄品を配備している

2. 自然災害等への対応について

5 災害への事前対策

◆通信手段の確保（衛星携帯電話・無線機）

	衛星携帯電話	MCA無線	IP無線
導入場所	本社および一部事業所 ※2024年度全事業所に 配備予定	足立営業事務所の 高速車に配備	足立・西新井・葛飾・三郷 吉川・西柏・沼南に配備 ※2024年度、草加・八潮に配備
通話エリア	全 国	MCA中継局 エリア内	携帯電話網
特徴	携帯電話との通話や緊急 特番(110/118/119等)の 利用が可能 	通信規制がかかりにくい 	グループ通話・一斉通話 が選択できる 



コストはかかるが、複数の通信手段を確保することで、災害時の通信手段を維持

2. 自然災害等への対応について

5 災害への事前対策

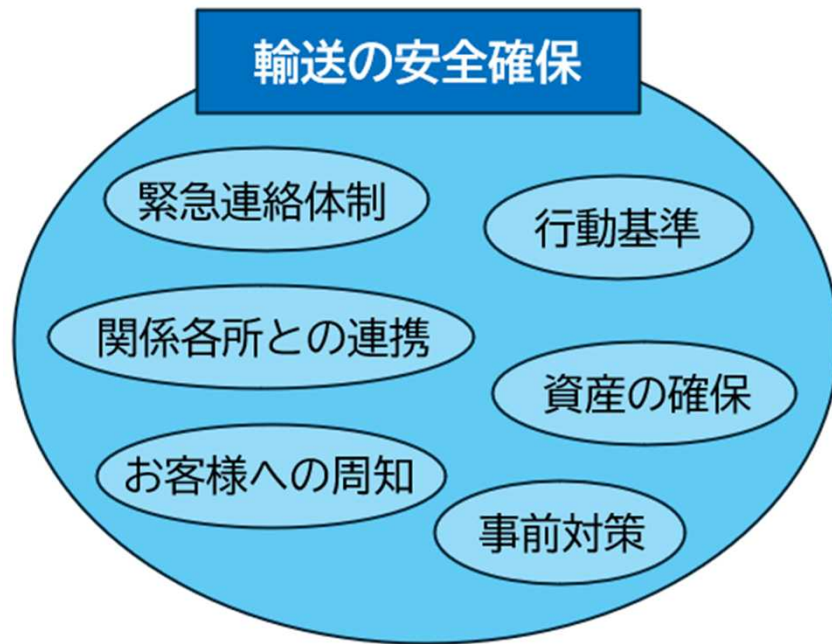
◆電源の確保【インバーター付き車両】

事務所が停電した際にも、運行管理業務が継続できるよう各事業所に配備



3. まとめ

輸送の安全確保に向け、事前対策を継続・強化するとともに、行動基準や連絡体制の周知を徹底し、災害発生時の即応体制構築を図るなど、災害対応力の向上に努めてまいります



ご清聴ありがとうございました

